

がん登録推進法に関するシンポジウム 「これからのがん登録とどう付き合うか？」報告(2)

松坂 方士 専門委員

弘前大学大学院医学研究科 地域がん疫学講座 講師



平成26年12月20日に日本医師会館で開催されましたがん登録推進法に関するシンポジウムにつきまして、私の感想も交えてご報告申し上げます。

(1) 来賓あいさつ

横倉義武氏(日本医師会会長)と堀田知光氏(国立がん研究センター理事長)から来賓のごあいさつをいただきました。

日本医師会はわが国の医療全体にとってとても大きな責任を担われており、がん医療も当然その枠内にあります。また、がん対策におきましても日本医師会の役割は大きく、これからの方向性の決定に大きな発言力が期待されます。今回のシンポジウムは日本医師会とJACRとの共催ということで、今後、がん登録推進法をがん医療・がん対策の両側面から日本医師会が大きくサポートしていただけることをお願い申し上げます。

国立がん研究センターは、法制化後の全国がん登録において中心的な役割を果たすことになっています。今回は来賓としてのごあいさつをいただきましたが、ご自身でおっしゃられていたように堀田氏は実はある意味で当事者側のお一人でもあります。これまで、がん医療やがん対策における国立がん研究センターのご活躍は顕著なものと思われませんが、これからは全国がん登録におきましてもそのリーダーシップに大きくご期待申し上げます。

(2) 講演

塩崎恭久氏(衆議院議員、厚生労働大臣)と垣添忠生氏(日本対がん協会会長、元国立がんセンター総長)からご講演をいただきました。

厚生労働大臣からのご講演は今回のシンポジウムの大きな目玉の一つです。塩崎氏は議員連盟「国会がん患者と家族の会」を通してがん登録推進法の成立に尽力されており、氏の厚生労働大臣ご就任は同法の施行を前にしてJACRとしては大変心強く感じられるところです。塩崎氏からはがん治療に関連する学会、そして何よりもがん患者会からの強い要請を受けて超党派の議員連盟の結成に至った経緯や、多くの会派の賛成によって平成25年12月6日にがん登録推進法が国会で可決されるまでのご苦労をお話いただきました。特に今回の経緯においては、がん患者会の皆様の正しいがん情報への強いご要望がひしひしと感じられます。JACRとしてもそのご要望に応えるべく、より一層の努力が求められるとろと考えます。

垣添氏は国立がんセンター総長を辞された後も、日本対がん協会会長として引き続きわが国のがん対策の中心的な役割を担われておられます。また、私は垣添氏をご自身の奥様をがんで亡くされたご経験をつづられたエッセイを拝読したことがありました。そのせいもあり、氏のご講演は日本対がん協会のお立場からの内容ではありましたが、がん患者さんのご家族やご遺族のお気持ちも代弁されている部分があったのではないかと感じております。次ページへ続く→



塩崎恭久厚生労働大臣を囲んで記念撮影。

左手前から今村副会長、横倉会長、塩崎厚労相、垣添氏、堀田氏、左奥から井岡氏、道永氏、猿木氏、伊藤氏、正林氏、井上氏、田中氏、塚本氏、松田氏、齋藤氏



がん登録推進法に関するシンポジウム 「これからのがん登録とどう付き合うか？」報告(2)

(3) 全国がん登録説明会、およびシンポジウム

「がん登録の新展開」

全国がん登録説明会は正林督章氏(厚生労働省健康局がん対策・健康増進課課長)からがん登録推進法のフレームワークや今後の政省令のスケジュール等についてご説明がありました。その中でも私の印象に残ったのは、正林氏が健康増進法の条文中にがん登録を盛り込む努力をされたこと、しかし個人情報保護の観点から当時は努力義務としてしか条文に入れることができなかった経緯のご紹介です。がん登録の運用には常に個人情報の保護が懸念事項としてあげられます。JACRとしては、今後とも情報の安全管理に注力していく必要が感じられました。

シンポジウムでは6氏にそれぞれご講演をいただき、その後にパネルディスカッションの運びでした。各氏が院内がん登録の立場やがん疫学研究者としての立場などから、施行まで1年を控えたがん登録推進法へのご期待を発表されました。道永麻里氏(日本医師会常任理事)からは、改めて日本医師会としてのがん対策、そしてがん登録推進法への取り組みをご説明いただきました。がん患者さんを実際に診療するのは臨床医です。したがって、臨床医はがん患者さんとがん登録の架け橋と考えることができますし、これからがん登録について



理解の普及を図る際には日本医師会にサポートしていただくことをご期待申し上げます。

今回のシンポジウムは昨年開催されたシンポジウムにより増してがん登録に関する具体的な議論が行われました。また、日本医師会と厚生労働省の大きなご支援をいただきながら、JACRの活動をさらに活発にしていけることが必要であると感じられました。

関 連 学 会 一 覧

2015(平成27年)

日程	学会名	開催場所
6月5日(金)～6日(土)	日本がん疫学・分子疫学研究会総会(第38回)	埼玉県 ラフレさいたま
6月10日(水)～11日(木)	地域がん登録全国協議会学術集会(第24回)	群馬県 群馬会館
10月8日(木)～10日(土)	国際がん登録協議会学術総会(IACR)(第37回)	インド ムンバイ
10月8日(木)～10日(土)	日本癌学会学術総会(第74回)	愛知県 名古屋国際会議場
10月29日(木)～31日(土)	日本癌治療学会(第53回)	京都府 国立京都国際会館
11月4日(水)～6日(金)	日本公衆衛生学会(第74回)	長崎県 長崎ブリックホール